

絵本 Vol.9

いいね!

今回は「いいね!な絵本ワークショップ」



特別企画 SPECIAL EVENT

絵本作家の先生と一緒に
おはなしをつくろう!
開催!

今回のいいね!な絵本では、
2019年10月26日に開催された絵本ワークショップ
「絵本作家の先生とおはなしをつくろう!」を取り上げます。
4人の絵本作家さんが、子どもたちと大きな紙に絵を描いたこのイベント。
図書印刷本社で行われた当日の様子を、たっぷりご紹介します。

紙の上では何を描いても、自由なんだ

本社1階の多目的スペースに、
25組の親子が続々と
集まってきました。
会場の床には、
幅が1メートルほどもある
大きな紙が、
何枚も広げられています。



「みんなで妖怪横丁をつくろう!」

用紙に描きましょ
う。名前もつけてく
ださいね。完成し
たらはさみで切り
取って、黒い紙の上
の「妖怪横丁」に連
れていきますよ。
なるほど!妖怪
を街へ連れ出すの
ですね。みんなは真
剣まなざしで画用
紙に向かいました。ある男の子は、おも
ちゃのピアノに目鼻をつけて妖怪に。隣
ではお母さんが同じピアノをもう一つ
描きながら「あまり弾かれなくなっ
ちゃったから、ピアノがかわいそうで。
親子の妖怪です」と話してくれました。

子どもたちの前に、広瀬克也さん、つば
いじゆりさん、ふくながじゅんべいさん、
めぐろみよさんが登場しました。この4
人の絵本作家と一緒に、子どもたちが大
きな絵を描くのです。制作スタートとと
もに早速楽しそうな声が聞こえてきたの
は、つばいさんのグループでした。つばい
さんはみんなのイメージがふくらみやす
いよう、準備してきた自作の紙芝居を開
き、集まった子に語りかけます。

ビリビリ破る「貼り絵」に熱中

「食欲の秋」たべものパーティー☆
がクレヨンで
テーブルの輪
郭線を描く
と、白い紙が
たちまちパー
ティー会場に
見えてくるか
ら不思議で
す。子どもたち
は紙芝居に登場
したうさぎや
ま、大好物のまぐ
ろ寿司やぶどうジュースなど、思い思いの
絵を紙にかじりついて描き始めました。



「食欲の秋」たべものパーティー☆

「食欲の秋」たべものパーティー☆
がクレヨンで
テーブルの輪
郭線を描く
と、白い紙が
たちまちパー
ティー会場に
見えてくるか
ら不思議で
す。子どもたち
は紙芝居に登場
したうさぎや
ま、大好物のまぐ
ろ寿司やぶどうジュースなど、思い思いの
絵を紙にかじりついて描き始めました。

ふくながさんのグループからは、ビ
リビリと色画用紙を裂く、威勢のいい
音が。こちらでは大きな白い紙が1人
1枚配られ、そこにちぎった色画用紙
などで貼り絵をして、ハロウィンの物
語の各場面を作っていました。全員
の場面をつなげると、ひと続きのお話に
なります。女の子が青い色画用紙を
持ちよさそうに破っていました。「青い
猫だよ。これからかぼちゃの帽子をか
ぶせてあげるの」。それを聞いたふく
ながさんは、
ふくなが いいね! かぼちゃの帽子に
目玉ほしい?
と、女の子に問いかけました。女の子
がうなずくと、ふくながさんがパーツを
その場で作って渡します。



最終的には、
4人の作家
たちが絵本
をみんなの
前で読んでく
れました。広
瀬さんは「妖
怪横丁」、つば
いさんは「た
まらんちゃん
ん」、ふくなが
さんは「へんし
ん!いろいろ

子どもたちには白い画用紙
が1枚ずつ配られています。どんな遊
びをするのでしょうか?
広瀬 オリジナルの妖怪を考えて、画

めぐるさんのグループのテーマは、妖
怪の大運動会です。白い大きな紙に、め
ぐるさん子どもたちも熱中して競技
の絵を描きます。
めぐろ クレヨンで描
いてもいいし、折り紙を
ちぎって貼ってもいいよ。あ
ら、この風船の絵、とってもき
れいね。ピンクに黄色に、いろ
んな色で塗ってくれたのね。
紙の上では何をしても自由。その
楽しさをめぐろさんと共有するように、
子どもたちはおのの好きな競技を、
好きな描き方で表していました。2つ
の玉入れのかごの上に、間を飛び交う紙
飛行機を貼りつけた手も。真っ白い大
きな紙の上に、子どもたちの発想のやわ
らかさが、奔放にあふれ出していました。

めぐろ クレヨンで描
いてもいいし、折り紙を
ちぎって貼ってもいいよ。あ
ら、この風船の絵、とってもき
れいね。ピンクに黄色に、いろ
んな色で塗ってくれたのね。
紙の上では何をしても自由。その
楽しさをめぐろさんと共有するように、
子どもたちはおのの好きな競技を、
好きな描き方で表していました。2つ
の玉入れのかごの上に、間を飛び交う紙
飛行機を貼りつけた手も。真っ白い大
きな紙の上に、子どもたちの発想のやわ
らかさが、奔放にあふれ出していました。





いいね! なワークショップの先生たち

広瀬克也さん

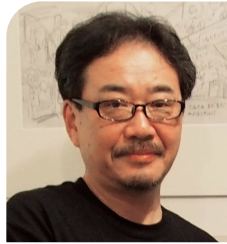


身近な道具の妖怪に 創作意欲を刺激されて

思いつきや発見の楽しさをわかち合えたらと思い、「みんなで妖怪横丁をつくらう!」をテーマにしました。オリジナルの妖怪というお題に考え込む子もいましたが、「つくも神」の話をするとイメージが広がったようで、どんどん描き始めたのが印象的でした。

広瀬克也さん

絵本作家、グラフィック・デザイナー、イラストレーター。代表作品はユーモラスな妖怪絵本シリーズ『妖怪横丁』(絵本館)など。各地でワークショップも行う。



つばいじゅりさん

絵本作家、イラストレーター、デザイナー。『いもむしパン』(PHP研究所)、『たまらんちゃん』(金の星社)など。イベントも全国各地で開催。



つばいじゅりさん



みんなの絵が 合わさって 一つの作品になる喜びを

動物たちが食べ物を持ち寄るパーティーを、みんなで描きました。一人一人の絵が合わさって作品になる喜びを感じてもらえたらいいなと思って、参加者の中でも最年少の男の子が、大人では描けない味わいある絵を次々に描いていたのには、驚かされました。

ふくながじゅんぺいさん



切って、貼って、破って 熱中してつくった 子ども作家たち

普段、紙を切りながら絵を考えたり、絵からお話を思い浮かべて絵本をつくります。その楽しさを伝えようと思いました。制作中の子どもたちはまさに一人一人が立派な作家。終盤、僕は「口出しする邪魔なおじさん」と思われていたんじゃないかな。夢中なひと時でした。

ふくながじゅんぺいさん

イラストレーターとしてカラーージュを用い、主に書籍、広告で活動。絵本作品に『へんしん!いろいろれっしゃ』(交通新聞社)などがある。



めぐろみよさん

絵本作家、イラストレーター。主な著書に『ようかいオリンピック』(星の環舎)など。男の子と女の子の双子の子育てに奮闘中。

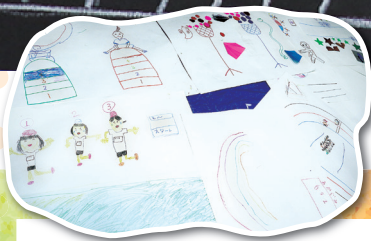


めぐろみよさん



初めての ワークショップで子どもたち のつくる姿に感動

ワークショップを経験するのは、今回が初めてでした。「妖怪運動会」を、決まった形にとらわれことなく自由に描き出していった子どもたち。その想像力の豊かさ、集中力には、感動を覚えました。描く楽しさを感じてもらえて、うれしかったです。



「妖怪運動会」

よし いちろう
鶴巻義一郎さん



絵本作家の先生の絵本作品のお求めは
お近くの書店等にお問い合わせください。

図書印刷の持ち味、「カッコわるいカッコよさ」が ワークショップを成功させました

今回のワークショップは、図書印刷として初めての試みでした。参加者の子どもたちからは好評で、企画側もとてもうれしかったです。親子が楽しくコミュニケーションする場が作れたのが、何よりよかったです。

図書印刷という会社は、これまでBtoB、つまり企業同士の取引を得意としてきました。取引先の要望を受け止めて、何とか実現しようと粘って結果を出す姿勢が私たちにはあります。汗をかき姿は一見カッコわるく映るかもしれませんが、「カッコわるいカッコよさ」があるのもいいですね。このワークショップは、図書印刷がBtoCに取り組んだ例ですが、こうした社風はここでも生きています。ワークショップの内容決定や運営という未知の分野を、手探りで一步一步クリアし、イベントを成功させられたのは、企画メンバーの誰もが「カッコわるいカッコよさ」を発揮してくれたからでした。今回の成功を次につなげて、図書印刷らしい読者への働きかけを模索していきたいです。

いいね! なワークショップ を企画した人

鶴巻義一郎さん



図書印刷株式会社 営業シニアマネージャー。入社以来、教育系出版社などの仕事を担当し、多くの本づくりに携わる。絵本・児童書分野に図書印刷がどう関わっていくかを日々考えている。

